

プログラム



8月9日(月)

- 18:30-20:10 (18:00 開場) **ベトナム映画「昨日、平和の夢を見た」上映 ※**
※先着 70 名のお客様にベトナムのデザートを提供

10日(火)

- 12:00-14:15 (11:30 開場) **ラオス映画「サーバイディー・ルアンパバン」上映 ※**
- 15:00-17:10 **ASEAN からの留学生による各国紹介セミナー ※**
- 17:10- **留学生との交流会**
※東南アジア料理も楽しみながら

11日(水)

- 13:00-14:40 (12:30 開場) **カンボジア映画「稲妻の足を持つ男」上映 ※**
- 16:00-18:00 **メコン地域経済回廊セミナー(投資関連)【要事前予約】**
- 18:00-19:00 **メコン地域経済回廊セミナー情報交流会**

12日(木)

- 11:30-13:30 **ASEAN 屋台村リターン**
※東南アジア料理の人気レストランが一堂に集まって、自慢のお弁当を販売
- 15:00-17:00 (14:30 開場) **ミャンマー映画「モージョ・ダゴン-謎の塑像-」上映 ※**
※先着 70 名のお客様にミャンマーのお菓子をサービス
- 17:00-17:30 **ミャンマー映画トークショー**
※ミャンマー映画祭実行委員会代表 三井優氏をお招きして

プログラムの内容については変更が生じる可能性があります。
最新情報は日本アセアンセンターのHPでご確認ください。

- ※ 映画上映会及び留学生によるセミナーでは 70 名様分のお席をご用意しております。
自由席になりますので、ぜひ早目にお越しください。
- ◆ 映画は全作品に日本語字幕付きでの上映になります。

- ◆ 入場料: 映画、セミナー、交流会等の入場料はすべて無料です。
- ◆ 予 約: メコン地域経済回廊セミナーのみ予約が必要です。
その他のイベントは予約不要ですので、お気軽にご参加ください。
- ◆ 場 所: 日本アセアンセンター・アセアンホール

上映作品のご案内



きのう、平和の夢を見た

Dung Dot / Don't Burn

2009 年 / ベトナム / 100 分

監督: ダン・ニャット・ミン

出演: ミン・フーン、マシュー・コークス

2009 年アジアフォーカス福岡国際映画祭にて
福岡観客賞を受賞

〈ストーリー〉

2005 年の春、ハノイに住む年老いた母親のもとへ、1 冊の日記が届けられる。1968 年から 2 年間、国家解放戦線の戦地病院で働いていた若い女医が、死の直前まで書き綴ったノートだった。その古い日記は、ベトナム戦争に従軍したアメリカ人将校が戦地で見つけ、アメリカに持ち帰られて大事に保管されていたもの。35 年もの月日を経てベトナムで出版され、それは国中に一大センセーションを巻き起こす。

日記の内容と実話に基づいて、戦争を舞台にそのベースにある人間の愛を表現した、感動の話題作。



サーバイディー・ルアンパバン

Sabaidee Luang Prabang /
Good Morning Luang Prabang

2008 年 / ラオス・タイ / 133 分

監督: Sakchai Deenan, Anousone Sirisackda

出演: Ananda Everingham, Khamlek Pallawong

ラオス映画史上空前の大ヒット作

〈ストーリー〉

ラオス人の父とオーストラリア人の母の間に生まれ、タイで育った青年ソーンは雑誌社のカメラマン。ある日、編集長からラオスの取材を指示されるが、興味のないソーンは仕方なしにラオスに向かい、ガイドを雇って写真を撮りに行く。

ガイドの女性ノイーと一緒にラオスを周るうちに、ソーンはノイーに惹かれ始めていく。

美しい自然と人情味溢れる国ラオス、その数々の美しい風景の中で育まれる大人気ラブストーリー。



稲妻の足をもつ男

2004 年 / カンボジア / 100 分

監督: ガン・シヴァター

主演: エ・プトン、スーン・ペガダイ

カンボジアで大人気の作品を日本初公開!

詳細は日本アセアンセンターHPでご覧ください。



モージョ・ダゴン -謎の塑像-

Mojo Dagong

2006 年 / ミャンマー / 112 分

監督: ゴウトン

出演: カンシトウ、ナンダーライン

2008 年ミャンマー映画祭上映作品

〈ストーリー〉

19 世紀後半、英国統治時代のミャンマー。中国との国境に接する北部、現カチン州を舞台に、部族内の権力闘争を背景に、謎の像をめぐる異母兄弟が出会う。歴史の変革期の狭間で弓と剣、格闘技が華麗に舞う。

ミャンマー映画界の巨匠、ゴウトン監督と超人気女優カンシトウのタッグで繰り上げられる、歴史アクションエンターテインメント。



-ミャンマー映画トークショーのスピーカーご紹介-



三井 優(ミツイ ユウ) 氏

-映画、アニメ、コミック等の脚本家
-2007 年よりミャンマー映画祭実行委員会代表

「ミャンマー(ビルマ)国内の映画事情はなかなか日本には伝わっていません。しかし俳優、スタッフ、製作関係者の自国映画にかける情熱は高く、ASEAN の他の国と比較しても、創意工夫に満ちた物語りと映像を愉しむことが出来ます。特筆すべきは俳優陣の魅力、芸の範囲が広く演技力以外にエンターテイナーとしての歌や踊りはミャンマーの人々にはなくてはならない生活の一部になっているのかも知れません。そういった特色も含め、現地の人々が実際に楽しんでいるミャンマーの大衆文化に触れていただくとともに、ミャンマー映画、そしてミャンマーの魅力を皆さんに、観て、感じていただけることを願っています。」